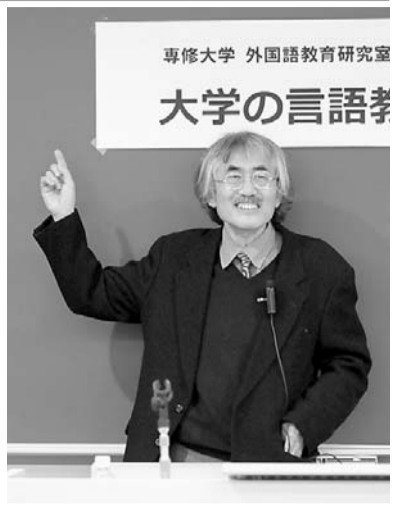


「外国語教育研究室」CALL教室開設50周年 「大学の言語教育と国際化」をテーマに 佐藤東大名誉教授が記念講演



▲ 講演する佐藤氏

50年。記念行事が神田キャンパスで1月24日に行われ、「大学の言語教育と国際化」をテーマに講演と研究発表が行われた。

冒頭、寺尾格外国語教育研究室長(経済学部教授)が写真を交え50年の歩みを紹介。「当初はヒアリング中心だったが、インターネットで世界に開かれた環境で語学を学べるようになった」として、開設以来の名称(LI教室、LI研究室)を2014年度から「CALL教室」(外国語教育研究室)と変更したことを説明。2015年度から、新たにイタリア語とアラビア語を第3の選択外国語として設置することを発表し、

とを公表した。アメリカ文学者で東大名誉教授の佐藤良明氏は、NHK「リトル・チャロ」の教材執筆者(共著)。「人間―機械―言語―社会」と題して講演し「インターネットの過剰な情報にうんざりしている学生は、無料の語学学習サイトにすら興味を示さない」と指摘。「言語

学習に学生を引き込むのは機械でもコンテンツでもなく教員の感化する力、人間力」と語り、コンピュータの代わりにEメールを当てた「EMAIL教室」を提唱、共感を呼んだ。

後半は、仲道慎治法学部非常勤講師(スペイン語)が教員2人によるリレー形式の授業について、杉本孝子経済学部非常勤講師(英語)がCALL教室の機能について報告。土屋昌明経済学部教授(中国語)は、2014年度から始まった1年次の教養科目「世界の言語と文化(中国語)」を例に、外国語教育の枠を超えた授業について語った。学生の興味を引くための工夫や留意点について、参加者との質疑応答が続いた。

土屋教授の授業を履修している磯部歩さん(経済)は「日本語と中国語の共通点や差異がよく

最新の機器を備えた視聴覚教室(LI教室)が1964年に生田キャンパスに誕生し、本格的な言語教育がスタートして



▲ 質問に答える3教員。右から土屋教授、仲道非常勤講師、杉本非常勤講師

わかる授業。先生の苦心を聞き、頑張ろうと思えました。」「世界の言語と文化(仏語)」を受講している富田彩奈さん(同)も「内容が語学だけでなく、面白いです」とうなずいていた。

巨人新人研修会
佐藤教授が講演

佐藤雅幸経済学部教授(スポーツ心理学)は、プロ野球の読売ジャイアンツの新人研修会で講演、



メンタルトレーニングの大切さを説いた。写真は、1月12日、川崎市よみうりランドの同球団合宿

所、佐藤教授は6人の新人(育成4人含む)を前にして目標設定の重要性やプロ選手として大切な「情熱」と「哲学」について熱く講演した。

佐藤教授が同研修会で講師を務めるのは今回で7回目。

読売ジャイアンツのホームページでも紹介されている。http://www.giants.jp/g/news/news_399214.html



—●36●—

寺尾 格 外国語教育研究室長

外国語の学習には大きな「つまずきの石」が数多くあります。文法は難しいし、覚えることはたくさんある(ありすぎる)し、テストは毎回だし、先生はこわいし…特に入門レベルで??となるのが、固有の「発音」と「イントネーション」で、これが習い始めの大きな障害となっています。語学に限らず、**学の知識とは**学に固有の「用語(難しく言えば概念)」を理解して「言える」ことで、おおむね1000語程度が「基礎語=基礎知識」になります。覚えるためには「口」で何度も反復することが大切です。新しい「発音」の基本は避けて通れません。

別にネイティブと同じでなくても良いのですが、そこを間違えたら通じないというポイントがあります。これは独学では難しく、良いコーチの下で、実際に声を出し、何回も間違えながら、少しずつ修正を繰り返す「身体化」の作業が不可欠です。

例えば日本語の「アップル」は「3音節」ですが、英語の「apple」は「a」だけが「母音」で、残りは「子音」となり、全体は「1音節」となり、日本語とは全く異なる「イントネーション」です。「言えない」ものは「聴けない」のですから、「文字」で説明されるよりも、実際に「声を出しながら」練習するしかありません。未知の外国語は、未知の身体操作と向き合うことであり、自分の身体の新たな可能性を開拓することなのです。

※短縮版。全文はCALL教室ホームページで。



語学はスポーツ!

石の物語

中国の石伝説と『紅樓夢』『水滸伝』『西遊記』を読む

廣瀬玲子訳

と、天界の巨石が小さな玉となって人間界に降り、天界にもとって自らの経験を伝えた話という設定になっている。なぜ石なのだろうか。実はその背景には石にまつわる古代以来の多様な伝説が存在するのである。信仰の対象となった石、厄よけの石、音を出す石、もの言う石など不思議な石たちが紹介される第二章「石の神話辞典」は単独で読んでもおもしろい。

Facebook ページ開設

専修大学は公式 Facebook ページを開設しました (https://www.facebook.com/SenshuUniversity.jp)。専修大学 Web サイトトップページに掲載されたニュース、イベント、お知らせなどの情報をはじめ、日常の出来事や予定などの情報を配信していきます。なお、専修大学へのご質問やご意見などには、Facebook 上では対応しておりませんので、あらかじめご了承ください。

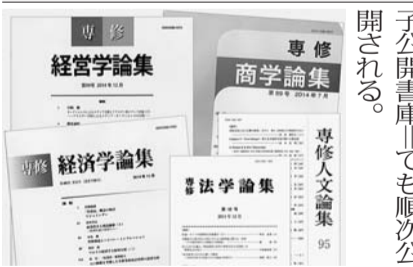
論集発行

各学部では教員の研究成果を収録した「論集」を随時刊行し、生田・神田両キャンパスに配架している(無料)。

- 【生田】▽1号館1階▽4号館2階▽7号館1階▽8号館3階▽9号館1階▽10号館1階【神田】▽1号館3階

また、専修大学学術機関リポジトリ「SIR-Box」にインターネット上の電子公開書庫でも順次公開される。

専修大学社会科学研究所 社会科学叢書16 学芸の還流



鈴木健郎・根岸徹郎・厳基珠編

社会科学研究所の共同研究「フランスと東アジア諸地域相互における近現代学芸の共同主観性に関する研究」(2009~11年、鈴木健郎代表)の成果を報告する一冊。フランス、中国、日本、